

公益財団法人川崎市生涯学習財団 令和2年度 事業報告

公益財団法人川崎市生涯学習財団が定款第4条に基づき実施した令和2年度の事業実績は以下のとおりである。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出や外出自粛要請などで各種事業・イベントが中止や延期あるいは計画変更・規模縮小を余儀なくされる中で、感染症の影響下における対応・対策を講じながらできる限り事業を継続した。

I 公益目的事業

1 生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業(公1)

(1) 生涯学習に関する学習機会提供事業 (定款第4条第1項第1号)

①かわさき市民アカデミー協働事業

「かわさき市民アカデミー」は、高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であり、川崎市が全国に誇れる市民大学である。当財団は、認定NPO法人かわさき市民アカデミーとの協働事業として、会場の確保や事業広報等で協力し、その活動を支援している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前期アカデミー講座及び主要行事が中止となった。

ア) 会場の確保

生涯学習プラザ施設提供	446件	
生涯学習関係施設確保(中原・高津市民館)	13件	
新百合トウェンティワンホール施設確保	84件	1,947千円

イ) 事業広報協力

受講生募集チラシ印刷及び新聞折込み費支援 1回(後期) 1,341千円

ウ) 三者連絡会議の主宰

かわさき市民アカデミーの運営について共通理解を図ると共に、課題解決に向けた協議を行う場として、川崎市生涯学習財団、認定NPO法人かわさき市民アカデミー、かわさき市民アカデミー学長・副学長による三者連絡会議を主宰した。

	2年度	30年度	29年度
回数	4	4	4

【参考】

「かわさき市民アカデミー」

ア) 会員・聴講生の受講者数(延べ受講者数)

	2年度	元年度	30年度
会員	1,943	4,653	4,708
聴講生	849	2,564	2,554
合計	2,792	7,217	7,262

イ) 講座・ワークショップ等開設数

	2年度	元年度	30年度
講座等開設数	55	109	106

ウ) 主要行事

○開講式

	2年度	元年度	30年度
参加者数	中止	116	105

○フェスタ'20

	2年度	元年度	30年度
参加者数	中止	1,113	835

○受講生のつどい

	2年度	元年度	30年度
参加者数	中止	中止	132

②青少年学校外活動事業

ア) 川崎市青少年地域間交流事業

川崎市の子どもたちが、友好自治体等との交流を通して豊かな自然や文化等にふれ、地域の人々との友好交流を深め相互理解を促進することにより、心身ともに健全な青少年を育成することを目的として、「ふれあいサマーキャンプ」と交流自治体である古座川町の青少年受入を実施している。

川崎市教育委員会、一般財団法人川崎教職員会館、当財団の三者主催による事業であり、市内青少年関係団体、学校関係団体、行政関係者等を委員として構成する実行委員会を組織している。当財団は、実行委員会の事務局として、交流事業の企画立案等の事務を担っている。

令和2年度については、4月の第1回実行委員会において、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、「サマーキャンプ」の実施を見送ることを決定した。また、6月には交流自治体である古座川町から今年度の交流研修を見送る旨の通知を受けた。

○ふれあいサマーキャンプ

	2年度	元年度	30年度
参加者数合計	中止	117	75
ア 北海道中標津町	—	13	(17)
イ 岩手県花巻市	中止	6	(6)
ウ 長野県富士見町	中止	19	(14)
エ 和歌山県古座川町	中止	15	(25)
オ 島根県益田市	中止	10	(19)
カ 宮城県涌谷町	—	12	—
引率者合計	中止	38	37

○交流自治体（古座川町）の青少年受入

	2年度	元年度	30年度
受入児童数	中止	3	14

イ) キッズセミナー

認定NPO法人教育活動総合サポートセンターとの連携・協力事業として、小学校3年生から6年生を対象に、夏季休業中に体験活動等を通して新たな興味・関心を喚起しながら、学習活動の充実を図ることを目的に実施している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の臨時休業延長により夏季休業期間が短縮されたため、当初計画を再編し、2日間3講座を開催した。

期 間：令和2年8月1日(土)～8月2日(日)の2日間

内 容：社会など3講座

対 象：生涯学習プラザまたは大山街道ふるさと館に通うことのできる市内在住の小学校3年生から6年生

講 師：認定NPO法人教育活動総合サポートセンターに登録している教職経験者

	2年度	元年度	30年度
受講登録者数	16	277	290
延べ受講者数	29	813	853

ウ) 子ども陶芸教室

生涯学習プラザ陶芸室で陶芸を学ぶ市民（陶芸教室受講生）のボランティア活動を促進するため、学校の夏季休業期間に小学校5年生～中学校2年生を対象に実施している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。

	2年度	元年度	30年度
参加者数	中止	23	22

③生涯学習プラザ施設提供事業

生涯学習プラザの施設(多目的ルーム、フィットネスルーム、活動室、研修室、会議室等)を年間にわたって広く学習機会提供の場として貸館提供している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出に伴い4月11日から5月31日までは臨時休館、1月12日から3月21日までは20時閉館とし、年間(295日)の利用件数合計は、5,382件であった。

	2年度		元年度	30年度
	件数	稼働率 (有料稼働率)	件数	件数
401会議室	270	30.7% (9.0%)	422	430
301会議室	298	33.9% (13.9%)	472	476
201会議室	290	33.0% (13.4%)	413	416
202会議室	335	38.1% (27.2%)	339	329
101活動室	397	45.1% (41.8%)	419	392
402 フィットネスルーム	1,002	56.9% (44.3%)	1,384	1,460
302多目的ルーム	1,183	67.2% (65.7%)	1,542	1,572
203活動室	1,080	61.4% (49.8%)	1,418	1,346
303研修室	313	35.6% (26.1%)	396	395
B1実習室	214	24.3% (—)	353	350
合計	5,382		7,158	7,166

※会議室、101活動室、研修室、実習室の利用件数は午前・午後・夜間を各1件として積算。

※203活動室、多目的ルーム、フィットネスルームは2時間単位を1件として積算。

(成果・課題等)

- かわさき市民アカデミー協働事業については、前期アカデミー講座等の中止が余儀なくされる中で、後期講座再開に向けた広報の協力、会場確保、オンライン講座実施についての支援を行った。
- 川崎市青少年地域間交流事業については、4月の第1回実行委員会で、「ふれあいサマーキャンプ」は子どもたちの安全が十分に確保できないと判断し中止が決定された。また、交流自治体の青少年受入は、6月に古座川町から実施を見送る旨の通知があり中止となった。
次年度については、実行委員会において作成した「令和3年度『ふれあいサマーキャンプ』実施上のガイドライン」に沿って感染防止対策を極力図り、3コース(富士見町・古座川町・益田市)での実施を予定して準備を進めている。
- キッズセミナーについては、市立学校の夏季休業短縮により実施日程・企画内容を再編して2日間で3講座を実施した。なお、子ども陶芸教室については、新型コロナウイルス感染拡大により安全・安心な実施が困難なため中止した。
- プラザ施設提供事業については、緊急事態宣言の発出に伴う臨時休館、開館時間の短縮や感染防止を理由とするキャンセルなどにより、利用件数は昨年度比1,776件減の5,382件にとどまった。施設提供事業の再開に際しては、館内の消毒など感染防止対策に努めるとともに利便性向上に向けたWi-Fi環境の整備を行った。また、10月から市健康福祉局による「シニア無料開放デー」事業(毎週火曜日・金曜日)に101活動室及び202活動室の施設提供を開始している。

(2) 生涯学習に関する活動支援事業（定款第4条第1項第2号）

①シニア活動支援事業

シニア世代を対象に、これまで培ってきた経験や知識及びかわさき市民アカデミー等で学んだ学習成果を、活力ある地域社会づくりや学校支援に生かすことを目的に実施している。

ア) 生涯学習ボランティア養成・派遣

令和2年度については、保育ボランティア養成・派遣及び陶芸ボランティア派遣は中止とし、事業の見直しにより前年度で終了した特別支援教育ボランティア養成・派遣は今年度により新規受託した学校支援センター事業により臨時派遣を行った。

(ボランティア養成講座)

	2年度	元年度	30年度
講座修了者合計	8	25	71
小学校PC活用授業ボランティア	8	10	28
特別支援教育ボランティア	—	—	23
保育ボランティア	中止	15	20

(ボランティア派遣)

	2年度	元年度	30年度
派遣延べ人数合計	134	2,131	2,582
小学校PC活用授業ボランティア	107	143	198
特別支援教育ボランティア	(3)	1,572	1,932
保育ボランティア	中止	339	357
環境学習ボランティア	24	61	80
陶芸ボランティア	中止	16	15

イ) 市民アカデミー地域協働講座

学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす目的で、認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働で大学等高等教育機関・地域団体・企業等と連携した講座、ボランティア活動につながる講座等を開講している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前期は中止とし、前期応募者を優先し後期日程に移行して実施した。

		2年度	元年度	30年度
参加延人数合計		124	453	451
前期	講座数	5	5	5
	参加延べ人数	中止	249	209
後期	講座数	6	5	4
	参加延べ人数	124	204	242
A LGBT・さまざまな性への理解と支援（短期）				
B 最新医学・医療の現状と展望-セカンドライフを健康に過ごすために（短期）				
C 傾聴ボランティア（長期）				
D 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その20（長期）				
E もっと考えたい「家族・夫婦」のこと（短期）				
F シニアライフの問題解決講座 その2（短期）				

※長期は10回、短期は5回の講座

ウ) シニア活動講演会

シニア世代が地域でいきいきと活動し生活するための課題について考える機会として中原市民館との共同主催事業として講演会を開催している。

令和2年度については、募集人数を会場定員の半数とし、併せて録画映像のネット視聴希望者の募集を行って実施した。なお、参加104人の内ネット視聴希望者は33人であった。

開催日：令和2年11月2日(月)

テーマ：「シニアのための完璧を目指さない片付け術」

講師：小関 祐加 氏

	2年度	元年度	30年度
参加者数	104	117	119

②その他支援事業

ア) ランチタイムロビーコンサート

市民の音楽活動への支援と鑑賞の機会として、市内を中心とした音楽活動に取り組むグループ等を対象に、生涯学習プラザ1階ロビーを演奏会場として定期的に提供している。

令和2年度については、飛沫防止ビニールシートの設置、状況に応じて延期・中止するなど感染防止対策をしながら実施した。

	2年度	元年度	30年度
開催数	5	10	11
延べ来場者数	215	625	750

イ) なかはらママカフェ in 生涯学習プラザ

中原区役所との共同主催事業として、生涯学習プラザ1階活動室及びロビーを子育て中の市民が気軽に立ち寄り交流できる場として提供し、区の子育て施策推進に協力している。

令和2年度については、飲食物の販売を休止し、定員縮小・事前申込制として10月から実施を再開した。

	2年度	元年度	30年度
開催数	5	8	9
延べ参加者数	133	284	348

(成果・課題等)

- ・生涯学習ボランティア養成・派遣について、保育ボランティア養成・派遣は中止し、9月から小学校PC活用授業及び環境学習のボランティア派遣を再開した。
また、1月にPCボランティア養成講座を日程短縮で実施した。
なお、前年度で終了した特別支援教育ボランティア派遣については、今年度新規受託した学校支援センター事業により3人を臨時派遣した。
- ・市民アカデミー地域協働講座については、前期講座は中止とし、前期応募者を優先した追加募集を行って後期6講座を実施した。なお、B健康講座「最新医学・医療の現状と展望」は、オンライン講座で実施した。次年度の実施について、オンライン講座実施のノウハウも活かして、内容・企画の検討を進めている。
- ・シニア活動講演会については、会場定員の半数(70名)を募集し、併せて期間限定の映像配信によるネット視聴希望者の募集を行って実施した(参加104人の内ネット視聴は33人)。また、プロジェクタで講演者の手元をスクリーンに映して見やすくしたことが好評であった。
- ・ランチタイムロビーコンサートについては、飛沫防止ビニールシートの設置、鑑賞人数の制限、入り口での検温、状況に応じて延期・中止するなど感染防止対策をしながら5回実施した。次年度も、出演応募が多くあることから、感染防止の対応・工夫を行いながら開催していきたい。
- ・なかはらママカフェについては、中原区役所と連携を図りながら、飲食物の販売休止、定員の縮小、事前申込制として10月から再開して5回実施した。

(3) 生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業（定款第4条第1項第3号）

①生涯学習情報の収集並びに学習相談

市民に幅広く情報の提供を行うため、生涯学習に関わる関連施設・諸事業や人材・団体等の情報収集を行い、これらをもとに市民からの生涯学習に関する相談に対応している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により講座・イベントの開催が自粛され、掲載する情報自体が減少した。

	2年度	元年度	30年度
学習情報(講座・イベント)掲載数	1, 6 2 3	2, 4 3 2	1, 8 9 2
生涯学習関係相談件数	4 4	6 2	5 2

②生涯学習情報誌による情報提供

生涯学習情報誌「Stage Up(ステージアップ)」により市民や団体・グループの活動、財団や市民アカデミー主催の講座やイベント、生涯学習関連施設等を紹介し、生涯学習に関する周知と啓発を行った。

令和2年度から発行体制を見直し、1回の発行部数5,000部、年4回の季刊発行とした。

	2年度	元年度	30年度
発行部数(A4判 8ページ)	1回5,000部	1回9,500部	1回10,000部
発行回数	年4回(季刊発行)	年6回(偶数月)	年6回(偶数月)
配布先数 生涯学習関連施設及び金融機関などの民間施設	7 5 0	7 4 0	7 6 0

③ICT活用による情報提供

生涯学習のきっかけや学びの場を探したり、自身の持つ知識や技術を地域に活かしたりするといった様々なニーズに応じられるよう、財団ホームページに「講座・イベント情報」「生涯学習関連施設情報」などの生涯学習情報を掲載している。また、メールマガジンを活用し、タイムリーな情報を毎月定期的に発信している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う財団事業の対応・情報を随時更新するとともに、生涯学習関連のオンラインイベントが容易に検索できるようホームページ画面を工夫した。

ア) ホームページの活用

	2年度	元年度	30年度
更新回数	1, 6 6 8	1, 1 7 8	8 9 1
Web閲覧回数	6 0, 5 0 6	5 8, 9 9 3	5 9, 3 1 3

イ) メールマガジンの登録・配信

	2年度	元年度	30年度
配信回数	1 2	1 2	1 2
登録者数	2 5 9	2 4 1	2 1 1

④その他の情報提供

ア) かわさきFMによる情報提供

毎月第1木曜日を基本にかわさきFMに出演し、財団や指定管理施設、市民アカデミー等の最新情報を市民に提供している。

令和2年度は、4～6月の出演を見送り、7月から出演を再開した。

	2年度	元年度	30年度
出演回数	9	11	11

イ) ごえん楽市への参加

公益財団法人かわさき市民活動センターが主催する「ごえん楽市」で財団の活動や生涯学習に関する情報を市民や活動団体等に提供している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止となった。

ウ) 地域情報誌等のメディアの活用

他団体のホームページや情報誌、地域情報誌等に情報を提供して事業の周知を図っている。

令和2年度は、社会人学級の様子が読売新聞に掲載され、こども向けPC教室の様子がケーブルテレビ「イツコム」の地元ニュースで放映されるなどした。

⑤生涯学習情報に関する調査・研究

幅広い学習情報の活用と広報活動の充実を図るための取組を協議するとともに、業務改善に向けての課題を広報推進会議で検討した。

(広報推進会議)

	2年度	元年度	30年度
回数	12	11	11

(ウェブアクセシビリティの対応)

誰もが利用しやすいホームページをめざし、2022年3月31日までにJIS X8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ」の適合レベルAAに準拠することを目標に、業者と協力して段階的に対応を進めた。

(成果・課題等)

- 生涯学習情報誌「Stage Up(ステージアップ)」は、隔月発行の年6回各9,500部だったものを季刊発行の年4回各5,000部に変更した。内容もイベント情報の紹介だけでなく人や地域の活動を読み物として楽しんでいただけるように紙面の充実を図った。また、メールマガジンを活用し、タイムリーな情報を毎月発信した。
- ホームページの活用については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの講座・イベントの中止・延期があり、情報量が少ない状況にあった。一方、感染症拡大に伴う財団事業の対応・情報を随時更新するとともに、生涯学習関連のオンラインイベントを容易に検索できるようホームページ画面を工夫するなどしてホームページアクセス件数は過去最高の60,506件となった。
- かわさきFMの放送については、4～6月の出演を見送り、7月から出演を再開した。放送は、これまで、複数の事業を複数の担当者が案内していたが、スタジオ内の人数制限が実施されたこともあり、担当者一人で出演し、一つの事業について中身の濃い事業内容を紹介することができ、結果的に効果的な広報につながった。
- お出かけ健康アプリ「楽天シニア」に加入し、プラザ受付にタブレット端末を設置した。その活用方法を広報推進会議で検討した。

2 生涯学習関連施設管理運営事業（公2）

（1）指定管理2施設の管理・運営（定款第4条第1項第4号）

川崎市の指定管理施設をNPO法人等と共同運営事業体を構成して、適切な施設運営により生涯学習の裾野を広げている。

＜大山街道ふるさと館＞指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日

令和2年度は2年度目。認定NPO法人教育活動総合サポートセンターとの共同運営事業体で管理・運営を行った。

二子・溝口は江戸期、東海道の脇往還（大山街道）の宿場町として大いに賑わった古い歴史をもっている。ふるさと館は、こうした大山街道に関わる地域の歴史、民俗に関する資料やゆかりの文化人の作品展示を行うとともに、大山街道にまつわる文化講演会や講座を開催し、高津区民はもとより川崎市民の子供から高齢者までを対象に、地域の生活・文化などの理解と地域への愛着心を高めることに努めている。これまでの講座等を継承・発展させ、新しい事業等を展開するとともに、施設面での改善等も進めている。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が出される中、市の方針に基づき、4月11日～5月31日について臨時休館とした。また、1月9日～3月21日の緊急事態宣言期間では開館時間を短縮し、閉館を21時30分から20時までに、緊急事態宣言解除後の3月22日以降は開館時間を21時までとした。

ア) 施設利用状況

※4/11～5/31 臨時休館

	2年度*	元年度	30年度
貸館利用者数	21,615	32,311	32,784
貸館利用件数	1,464	2,038	2,021
総利用者数	47,632	69,222	65,655

イ) 展示室入場者数

※4/11～5/31 臨時休館

	2年度*	元年度	30年度
延人数	6,401	9,142	9,140
開室日数	290	342	350

ウ) 事業実施状況

◆博物館事業	2年度	元年度	30年度
常設展入場者数			
大山街道－二子・溝口宿－ ～ふるさと歴史・民俗・生活展～	2,173	4,127	6,225
企画展入場者数			
第1回 6月12日～6月15日 「ふれあいクラブ高津 趣味の作品展」 ～高津区老人クラブ連合会作品展示～	中止	873	1,188
第2回 6月20日～9月27日 「二ヶ領用水とふるさと高津」 ～二ヶ領用水 国登録記念物登録記念～	1,932	2,057	892

第3回 11月7日～2月24日 「高札が語る幕末・明治維新期の二子・溝口」 ～溝口村の五榜の掲示から～	1, 976	1, 298	—
第4回 2月27日～3月4日 「地域が創出するカルチャー展」 ～趣味が創り出す美と感動の世界～	320	787	835
企画展記念講演会			
第2回企画展 記念講演会 7月19日 「二ヶ領用水と高津の村々」	37	48	43
第3回企画展 記念講演会 1月22日 「五榜の掲示が語る明治維新」	33	34	—
ミニ企画展（スロープ展示）			
大山街道宿場めぐり展 ①「上町・瀬田」7/1～8/31 ②「二子・溝口」3/3～3/31			
切り絵展(青木幸夫氏) ①「～出会い・印象～」4/1～6/30 ②「～制作過程など解説編～」9/1～10/31 ③「～大山街道小景～」11/1～2/1			
ミニ市民ギャラリー ①「高津パステル作品展」(高津パステル) 2/3～3/1			
「高津のまちアーカイブ展」2/27～3/4			
オリジナルDVD放映「大山街道ゆかりの人々～二子・溝口～」等			
収蔵品（古文書等）の収集、保存・管理、活用			
大山街道なんでも相談（レファレンス対応、展示案内、資料提供等）			

◆歴史文化探究事業	2年度	元年度	30年度
街道学習講座「なるほど！歩いて楽しい大山街道」			
春季 ①4月25日 ②5月9日 ③5月16日	中止	延べ70 (22)	延べ81 (25)
秋季 ①10月31日 ②11月14日 ③11月28日	延べ69 (19)	延べ64 (17)	延べ87 (26)
ふるさとまち歩き講座			
第1回 2月6日 新編武蔵風土記稿でたどる「下作延」	次年度へ延期	24	28
第2回 —	—	26	18
第3回 —	—	—	29
ふるさと探究講座			
第1回 9月12日「大山街道文学碑めぐり」	37	46	61
第2回 10月10日「二子玉川」の歴史をたどる	38	48	47
第3回 3月20日「江戸時代後期、大山街道と俳人たち」	38	61	48
子ども大山街道探検クラブ	延べ59 (13)	延べ166 (18)	延べ145 (18)
活動内容：溝口神社・二子神社見学、二ヶ領用水清掃、高津区役所訪問など開催(年6回) ※ふるさとおはなし会と子ども探検クラブ作品展示会(高津図書館)は中止			

ふるさと子ども出前授業	335	1110	766
東高津小(-)、坂戸小(-)、久地小(2/16)、久本小(-)、高津小(3/12)			
中学生のための郷土理解講座 元年度は課題学習支援	2	—	申込なし
夏休みキッズウィーク	12	344	—
自由研究等の課題学習支援 7月31日～9月16日			
キッズセミナー in ふるさと館	延べ12 (4)	延べ44 (11)	延べ50 (13)
「社会科ふしぎ発見」久地円筒分水の模型を作ろう 8月1日・2日			

◆地域活性化事業	2年度	元年度	30年度
春のふるさと館まつり			
「出張・高津さんの市」「落語」 「館内スタンプラリー」「昔あそび」等	—	来館者数 442	来館者数 523
秋のふるさと館まつり（9月） ※平成30年度までは秋のサポーターズクラブまつり			
「出張・高津さんの市」「館内スタンプラリー」 「落語」「昔あそび」「大山街道納太刀体験」等	中止	来館者数 503	来館者数 858
冬のふるさと館まつり（2月）			
「ノクチラボによる出店」「ダンス」「落語」 「こども縁日」「スタンプラリー」「昔あそび」 「第4回企画展・アーカイブ展」等	中止	来館者数 3,980	大山街道フェスタ 会場提供
高津区民祭（7月）への参加・協力			
本部会場として施設提供(区民祭中止) 第2回企画展の実施			
まちのマイスター体験講座			
第1回 1月12日「～人生100年時代～元気に楽しく過ごすために漢方を活用しよう」	20	16	17
第2回「日本酒の話あれこれ」	中止	27	19
第3回「世界の珈琲のみくらべ」	次年度へ延期	次年度へ延期	20
ぶらり散歩			
二子の散策と「老舗料亭やよい」訪問 10月25日	22	24	18
みちまちラウンジ事業（談話室開放、書棚整備、印刷機設置など）			
地域連携・学習支援事業（校外学習受入、講師派遣、バルマーク収集、廃油回収協力など）			
大山街道地域コーディネーターとの連携			
地域コーディネーター連絡会議など 3回			
大山街道ふるさと館サポーターズクラブとの連携			
サポーターズクラブ役員会、総会など 役員会1回 総会1回(書面会議)			
寄席・落語膝栗毛 in 大山街道ふるさと館			
第1回寄席 落語膝栗毛 04/25	中止	80	90
第2回寄席 落語膝栗毛 08/22	34	85	100
第3回寄席 落語膝栗毛 12/19	43	77	90

高津第一社協との連携			
ふるさと館食堂(福寿草の会会食会)後援	実施なし	年5回	年5回
川崎ウォーキング協会との連携			
ウォーキングステーション	1, 4 6 8	1, 7 5 6	—
市外地域との連携・交流 (世田谷区、伊勢原市など)			

◆自主事業	2年度	元年度	30年度
大山街道関連物品等の販売			
大山街道ガイドブック「訪ねて楽しい 大山街道」の販売及び委託販売	1 4 0 部	1 6 3 部	1 4 6 部
その他冊子販売、書籍・物品(手ぬぐい)の受託販売			

(成果・課題等)

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、2ヶ月近くの臨時休館、2ヶ月半の時短開館(1時間半短縮)を余儀なくされる中、感染拡大防止の対策をとりつつ、可能な限り各事業を実施した。 ・貸館については、緊急事態宣言が発令されていた期間以外(6月～12月)では貸館料収入が1,453,710円であり、過去5年間の同期間平均1,351,096円を上回った。 ・多くの利用者が見込まれる「ふるさと館まつり」や、食体験がテーマとなる「まちのマイスター体験講座」などの実施については、コロナ禍により見送らざるを得なかったが、ふるさと探究講座や企画展記念講演会等の各種事業は、定員を絞るといった対策をとって実施し、多くの講座ではほぼ定員を満了し充実した内容で好評であった。また、学芸担当の企画による、話題性のある企画展として、第2回企画展及び第3回企画展を開催し、新聞等に掲載されるなど注目を集めた。 ・公募によるイベントホールでの初めてのギャラリー利用では、8月に「天体写真展」と「切り絵展」が開催された。新聞・タウンニュース等に掲載され、ふるさと館の新たな魅力として注目を集めた。 ・自主事業で販売している書籍等の通信販売を導入、ホームページ・YouTubeに貸室紹介・施設紹介の動画を掲載するなど、新たな取り組みを行い、コロナ禍ではあるが、利用者サービスの向上と館の広報に努めた。 ・LED化の推進(スロープ天井水銀灯、3階各室)、スロープ転落防止工事(市費)、点字誘導ブロック改修工事(市費)など、快適で安全な施設・設備の充実を図ることができた。また、新型コロナウイルス対策として換気をしながら暖房を行うなど、電気使用料増加の要因があったものの、LED化の推進等の成果により、電気料金は前年度比379,413円減であった。 ・大山街道活性化推進協議会との連携で、「大山街道文学碑めぐり」パンフレットを13年ぶりにリニューアルして発行し、展示室にて配布した。新聞、タウンニュース等に取り上げられ、利用者サービスの向上とふるさと館の認知度向上を図った。 ・コロナ禍で手探り状態での運営とならざるを得なかったが、この状況はしばらく続くことが想定されるため、次年度は年間を通じた計画的な運営と早めの広報により、更なる利用の促進に努めたい。

<子ども夢パーク> 指定管理期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日

令和2年度は5年度目。認定NPO法人フリースペースたまりぼとの共同運営事業体で管理・運営を行った。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により諸々の制限下での施設運営となったが、所管課と協議し、緊急事態宣言期間中についても「子どもの居場所」を確保する観点から時間を短縮して開所した。

ア) 施設利用状況

	2年度	元年度	30年度
施設利用者数	53,717	88,963	87,103
団体利用件数	588	731	755
スタジオ利用者数	1,049	2,680	2,837

イ) 事業実施状況

◆イベント事業	2年度	元年度	30年度
GWスペシャルあそぼうウイーク	中止	1,681 (5日間)	1,476 (5日間)
あそぼうパン	中止	150	250
夢パまつり2020(7月)	中止	1,284	1,931
夢パ誕生会(7月23日)	48	—	—
KUJIROCK 2020			
SUMMER	中止	64	105
WINTER	中止	50	60
SPRING	中止	実施せず	111
ゆるROCK	中止	30	52
こどもゆめ横丁2020(11月8日)	1,368	1,773	1,833
クリスマスイベント(12月23日)	140	240	100
初夢!新春イベント(1月10日) ～どんど焼き・書初め・昔あそび～	314	840	975

◆子どもの遊び・活動に関わる事業	2年度	元年度	30年度
きれいにし隊	40	168	170
親子でもっとあそぼう会	241	237	270
おはなしおはなしパーク	171	215	161
畑の日	33	79	94
ベーゴマの日（第4土曜日）	98	29	48
スタジオ講習	40	155	96
スタジオ会	14	38	88
おさがりバザール	1,902	2,916	3,446
「ふるさと」を歌おう	118	214	129
メンテナンスの日	40	24	22
ゆるりであそぼう、話そう会	88	61	—
金曜あそぼう会	319	—	—

◆連携協働事業（子ども・市民・地域・行政等）	2年度	元年度	30年度
川崎市子ども会議	279	172	195
主催：支援委員会			
夢パークをつくりつづける会	101	112	149
所長講演会（11月28日）	38	27	21
大掃除大作戦（3月28日）	20	9	30
あそび場交流会	実施なし	21	—
主催：ちいくれん			
ちいくれんあそぼうデイ	実施なし	26	60
主催：オレンジリボンたすきリレー実行委員会			
オレンジリボンたすきリレー	実施なし		
主催：福島の子どもたちとともに			
川崎サマースクール	実施なし	実施なし	70
福島親子 in 川崎 夢パークで遊ぼう！	実施なし	実施なし	69
かわさき子どもの権利の日事業			
子どもの権利に関する資料コーナー作り（11月15日～19日）			
かわさき子どもの権利の日のつどい 会議へリモート参加			
高津区子ども子育てフェスタ（11月14日）への参加			

◆自主事業	2年度	元年度	30年度
実習生等の受け入れ	2件11人	5件20人	3件29人
子どもの遊びに関わる大人の養成基礎講座	中止	104人	87人
出張プレーパーク（スタッフ派遣）	1件6人	1件1人	3件4人

(成果・課題等)

- ・昨年度末からのコロナ禍における学校の臨時休校や緊急事態宣言の状況下において、虐待防止や子どもたちが安心して過ごせる「子どもの居場所」の確保の観点から、市と協議を重ね、感染防止措置を徹底し、開所し続けた。
- ・年度当初は利用を中止していたスタジオや全天候広場・ボール等について、コロナ禍における三密対策を講じた利用方法を子どもたちとも話し合いながらルールを決め、利用を再開していった。その後も、状況の変化や子どもたちの要望を受けとめ、状況に応じた見直しをしている。
- ・新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、年度の前半はイベントを中止せざるを得ない状況であったが、11月のこどもゆめ横丁は「開催しよう」との思いに応えて、YTK（横丁たのしくしよ会）のメンバーに手を挙げてくれた高校生とともに話し合いを重ね、準備を進めて開催することができた。
- ・フリースペース「えん」の登録者増に対応して屋根裏スペースの改修工事が行われ、フリースペース「えん」を中心に利用を進めている。今後、中高生の居場所拡充に向けて、利用の幅を広げていく検討を行っている。また、利用者からの要望の声が多かった温水シャワー設置に向け、市と協議を進めている。

(2) 指定管理者応募申請に向けての取組

川崎市子ども夢パーク第4期指定管理者募集申請に向けて、引き続き認定NPO法人「フリースペースたまりば」と共同運営事業体を構成し、事業検討委員会とプレゼン検討委員会で次期提案に関する検討・協議を行った。10月12日にプレゼンテーションを行い、指定管理者選定評価委員会による審査の結果、第4期の指定管理者に選定された。

3 生涯学習活動及び情報に関する運営管理受託事業（公3）

生涯学習に関する活動及び生涯学習に関する情報の提供を行うことで、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図ることを目的とした事業を受託している。

(1) 青少年育成事業（定款第4条第1項第5号）

①地域の寺子屋事業

ア) 寺子屋先生養成講座の受託（川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課）

2年度：7期開催(全26回) 受講生合計 91人 延べ参加人数 253人

	2年度	元年度	30年度
受講者合計	91	129	144
開催	7期(全26回)	8期(全32回)	9期(全36回)
延べ参加人数	258	461	511

2年度 実施状況

期	期間	回数	会場	受講者数	延べ参加人数
1期	令和2年 4月16日(木) ～ 5月14日(木)	中止	生涯学習プラザ	—	—
2期	令和2年 5月13日(水) ～ 6月10日(水)	中止	麻生市民館	—	—
3期	令和2年 6月12日(金) ～ 6月30日(金)	4	生涯学習プラザ	7	26
4期	令和2年 9月2日(水) ～ 9月23日(水)	4	生涯学習プラザ	18	60
5期	令和2年9月30日(水) ～10月21日(水)	4	教育文化会館	3	11
6期	令和2年10月28日(水) ～11月18日(水)	4	生涯学習プラザ	10	39
7期	令和2年11月25日(水) ～12月16日(水)	4	生涯学習プラザ	8	25
8期	令和3年1月8日(金) ～1月29日(金)	3	宮前市民館	23	45
9期	令和3年2月3日(水) ～2月24日(水)	3	麻生市民館	22	52

※1期・2期については、新型コロナウイルス感染拡大により募集後に中止が決定

イ) 地域の寺子屋開設及び準備等の支援

令和2年度は、地域の寺子屋開設及び準備等の支援要請はなかった。

(2) 生涯学習情報提供事業（定款第4条第1項第5号）

①生涯学習情報収集・提供事業業務の受託（川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課）

市内を中心とした「講座・イベント情報」「指導者・人材情報」「団体・グループ情報」の収集・整理・入力を行い、当財団のホームページ「かわさきの生涯学習情報」に掲載するとともに、システム運営にかかる維持・管理、市民からの生涯学習情報に関する相談及び神奈川県生涯学習情報システムへの情報提供を行っている。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント等の開催が減少したことから講座・イベント情報掲載件数も大きく減少となった。

	2年度	元年度	30年度
講座・イベント情報掲載数	1, 623	2, 432	1, 892
指導者・人材情報掲載数	251	225	203
団体・グループ情報掲載数	251	230	216
生涯学習関係相談件数	44	62	52
「プラネットかながわ」情報提供数	389	1, 107	1, 090

(3) 社会参加共生推進学習事業（定款第4条第1項第5号）

①社会人学級業務の受託（川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課）

様々な事情により十分に学習できなかった人や、もう一度学び直したいと考えている人が、地域社会の中で共に学び合い、より主体的に生きられるよう、中学校課程の学修領域で、国語、数学等、日常生活を送るために不可欠な基礎的知識と教養を学ぶ社会人学級を実施している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、5月から8月の教室は中止とし、9月から開講した。

教 科：国語、数学

開 設 期 間：令和2年9月8日(火)～令和3年3月9日(火)

国語 毎週火曜日 21回

数学 毎週金曜日 21回

受 講 者 数：国語 21人、数学 19人

延べ参加者数：国語 251人、数学 233人

(4) 地域学校協働事業 (定款第4条第1項第5号)

①学校支援センター業務の受託 (川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課)

市内の各学校がより幅広く、多様な教育活動を展開できるよう、学校のニーズに合わせて地域人材をコーディネートするための学校支援センター業務を実施している。

生涯学習プラザに常駐する本部支援員が、学校からの電話相談に対応し、ボランティアの学校への訪問サポートを地域ボランティア支援員が担っている。また、学校支援ボランティア説明会を開催しボランティア登録者の拡充を図っている。

令和2年度の新規受託事業として4月から業務を開始したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による市立学校の臨時休業が5月末まで続いたことなどがあり、学校からの相談はそれほど多くはなかった。

相談対応件数：27件

説明会開催：3回 合計参加人数45人

(成果・課題等)

- ・寺子屋先生養成講座については、会場を変更したり、一部内容を変更したり感染防止対策を講じながら3期以降の講座を実施した。3期・7期養成講座では、「中学生の学習を支援する講座」を開催した。次年度も、市と連携しながら「地域の寺子屋事業」の運営を担う人材の確保につなげられるよう実施していきたい。
- ・生涯学習情報収集・提供事業業務については、市民の学習機会の拡大につながるよう幅広い学習情報の提供を行うため、市民館、図書館、博物館等の生涯学習関連施設、市内を中心とする関係団体、大学、民間教育機関などから情報を収集した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により講座・イベント等の開催が減少したものの財団ホームページ「講座・イベント情報」に学習情報を1,623件掲載した。
- ・「指導者・人材情報」「団体・グループ情報」については、平成28年度登録243件の再登録のお知らせを郵送とメールで行い手続きを進めた。
- ・社会人学級業務については、5月から8月の教室は中止とし、9月から「国語」「数学」の教室を開催した。今年度は、教科ごとに曜日を変えて実施するとともに、授業時間を各1時間から1時間30分に延長し、授業内容の充実を図った。なお、緊急事態宣言の再発令時は期間中は授業時間を短縮し、終了時間を30分繰り上げて実施した。
- ・学校支援センター業務については、今年度の新規受託事業である。4月から業務を開始したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による市立学校の臨時休業が5月末まで続いたことなどがあり、学校からの相談はそれほど多くはなかった。相談内容によって、学校支援ボランティアで対応できない場合には他の制度を紹介するなど柔軟に対応した。また、ボランティア登録数は、年度当初の80件から126件と増加した。今後はボランティアの活動の場を広げるためにも、学校への周知に努めたい。

II 収益事業

1 生涯学習に関する多彩な体験講座事業（収1）

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大により、第1期の「スポーツ教室」「陶芸教室」および春の「文化教室」は中止し、第2期からは募集人数を会場定員に応じて制限するなど感染防止対策を講じながら開催した。

(1) スポーツ教室（定款第4条第1項第5号）

市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズ等に気軽に参加することで、健康な身体づくりと受講生同士の交流をめざし「健康・体力づくりスポーツ教室」を実施している。

2年度：36教室 受講者合計 842人 延べ参加人数 6,885人

	2年度	元年度	30年度
受講者合計	842	1,672	1,503
延べ参加人数	6,885	13,608	13,317

実施状況

教室名	2年度			元年度			30年度		
	教室数	受講者数	延べ人数	教室数	受講者数	延べ人数	教室数	受講者数	延べ人数
ヨーガ	4	98	760	6	236	1,955	6	256	2,242
気功太極拳	4	98	943	6	170	1,524	6	167	1,686
ストレッチ健康体操	2	45	318	3	84	724	3	75	683
たのしいフラダンス	2	39	364	3	73	732	3	65	706
ストレッチ&リズム体操△	2	40	357	3	100	880	3	89	881
エアロビクス	2	53	458	3	129	1,006	3	119	1,013
ピラティス（◆）△	2	55	406	3	106	880	3	93	804
ベビーリトミック（親子）	2	28	218	3	79	555	3	74	570
ZUMBA（◆）△	2	72	564	3	138	1,121	3	121	1,038
ZUMBA2020	1	17	130	-	—	—	-	—	—
骨盤エクササイズ△	2	48	344	3	99	814	3	93	855
からだを使って英語で遊ぼう	-	—	—	3	71	399	3	81	586
こども体操	2	29	249	-	—	—	-	—	—
筋力アップトレーニング△	2	69	526	3	135	1,180	3	133	1,300
幼児リトミック（親子）	2	37	302	3	66	449	3	58	447
ストレッチ&ヨガ	2	64	481	3	93	642	3	79	506
ストレッチ&バレエ（◆）	1	15	133	3	70	549	-	—	—
おとなバレエ	2	35	332	2	23	198	-	—	—

※ベビーリトミック・幼児リトミックは親子一組でカウント

△は新型コロナウイルス対策として、受講生を半分に分けそれぞれ6回講座として実施

◆は保育付き（ただし、今年度は保育実施せず）

(2) 文化教室（定款第4条第1項第5号）

市民が手軽に趣味や生活技術等を学ぶことや受講生同士の交流をめざし、「キラリ文化教室」として実施している。

2年度：受講者合計 200人 延べ参加人数 685人

	2年度	元年度	30年度
受講者合計	200	405	431
延べ参加人数	685	1,377	1,615

実施状況 ※実施回数は、春期・秋期は各教室とも5回、冬期は1回から5回。

春期 5月～7月

教室名	2年度		元年度		30年度	
	受講者数	延べ人数	受講者数	延べ人数	受講者数	延べ人数
楽らく歌の教室	中止	—	39	145	31	127
落語入門	—	—	—	—	21	94
写真教室	中止	—	20	89	23	107
メディカルハーブ&アロマセラピー	中止	—	24	113	—	—
筆ペンから始めよう	—	—	—	—	20	89
色えんぴつ画入門	中止	—	20	94	20	88
ワインを気軽に楽しむ	—	—	24	101	24	113
ミニブリッジ	—	—	13	49	—	—
ステップアップ!色えんぴつ画	中止	—	—	—	—	—
チーズを気軽に楽しむ	中止	—	—	—	—	—

秋期 10月～12月

教室名	2年度		元年度		30年度	
	受講者数	延べ人数	受講者数	延べ人数	受講者数	延べ人数
楽らく歌の教室	—	—	32	133	29	119
切り絵教室	9	41	13	56	14	67
写真教室	10	48	17	80	21	94
メディカルハーブ&アロマセラピー	15	73	24	113	24	108
ワインを気軽に楽しむ	—	—	24	116	24	112
色えんぴつ画入門	16	72	18	96	20	96
季節のフラワーデザイン	—	—	13	23	—	—
チーズを気軽に楽しむ	16	74	—	—	—	—
金継ぎ入門	24	70	—	—	—	—
ステップアップ!色えんぴつ画	18	83	—	—	—	—

冬期 2月～3月

教室名	2年度		元年度		30年度	
	受講者数	延べ人数	受講者数	延べ人数	受講者数	延べ人数
楽しく歌の教室(5回)	—	—	33	25	33	133
色えんぴつ画入門(3回)	16	48	16	23	20	60
写真教室(3回)	—	—	13	35	20	57
メディカルハーブ&アマテラビ(3回)	13	39	—	—	—	—
紅茶を楽しむ(2回)	—	—	—	—	19	36
整理収納術(2回)	—	—	—	—	20	39
楽しい味噌作り(2回)	12	12	26	25	30	59
スマホフォト撮影術(1回)	—	—	—	—	18	17
コーヒーを楽しむ(2回)	中止	—	16	31	—	—
ステップアップ!色えんぴつ画(3回)	23	69	20	30	—	—
フォトレッスン(2回)	—	—	中止	—	—	—
ビールの世界へようこそ(3回)	中止	—	—	—	—	—
カラーの使い方講座(2回)	28	56	—	—	—	—

(3) 陶芸教室 (定款第4条第1項第5号)

市民が陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流をめざし、広く受講生を募集する「陶芸教室」、陶芸教室修了生や作陶経験者を対象とする「陶芸『一般開放』」、初心者を対象とする「初心者陶芸教室」を実施している。

ア) 「陶芸教室」水・土曜日(各コース全12回)

		2年度	元年度	30年度
・手びねりコース (2コース×2期*)	受講者数	53	89	85
	延べ参加人数	636	1,068	1,020
・ろくろコース (2コース×2期*)	受講者数	38	59	61
	延べ参加人数	456	708	732

※2年度1期(2コース)は新型コロナウイルス感染拡大により中止

イ) 「陶芸『一般開放』」木・金曜日(各コース全3回)

		2年度	元年度	30年度
・手びねりコース (16コース×1期*) (12コース×1期)	受講者数	102	234	259
	延べ参加人数	306	702	777
・ろくろコース (16コース×1期*) (12コース×1期)	受講者数	216	450	469
	延べ参加人数	648	1,350	1,407

※2年度1期(16コース)は新型コロナウイルス感染拡大により中止

ウ) 「初心者陶芸教室」 2 教室実施(各教室全5回)

令和2年9月6日(日)～令和3年2月21日(日)

	2年度	元年度	30年度
実施回数(教室数)	2	3	3
受講生数	27	37	40
延べ参加人数	135	185	200

(4) その他

①特別教室

文化・スポーツに関して、時代に即したトピックとなるテーマを取り上げ「特別教室」として学級・講座を開催している。

令和2年度については「子ども向けPC教室」を継続実施するとともに、新規に「健康護身術」「フォトレッスン」「ボクサ de エクサ」を実施した。

ア) 子ども向けPC教室「はじめてのスクラッチ」

令和2年12月6日(日)

	2年度	元年度	30年度
参加者数	6	17	12

イ) 健康護身術(全3回)

令和2年8月24日(月)～8月28日(金) 参加者数11人 延べ人数33人

ウ) フォトレッスン(全2回)

令和2年9月4日(金)～9月18日(金) 参加者数:15人 延べ人数30人

エ) ボクサ de エクサ(全3回)

令和3年2月5日(金)～2月19日(金) 参加者数:33人 延べ人数71人

(成果・課題等)

- ・スポーツ教室については、社会全体の自粛傾向の影響もあり、募集定員に満たない講座もあった。一方、募集定員を会場定員の半分程度に制限したため抽選により選外となる応募者が多くなる講座もあった。定員を大きく超えて応募があった「ZUMBA」については、講師との調整により追加開設することができた。また、スポーツ教室講座受講生が自主的に活動を行うサークルが結成され、生涯学習プラザ施設を利用して活動が行われている。
- ・文化教室については、新型コロナウイルス感染防止対策のために、飲食を伴う教室など中止にせざるを得ない教室もあった。一方、今年度の新教室「金継ぎ入門」「カラーの使い方講座」などは、定員を超える応募があり、受講生の関心の高さがうかがえた。
- ・「初心者陶芸教室」について、次年度は、初心者陶芸教室に多くの市民が応募できる環境を作り、「陶芸教室(水曜、土曜)」の応募者確保に向けて、開催回数全5回を全4回として企画していく予定である。
- ・陶芸教室(水曜、土曜)については、リピーターの応募者も多く、受講生が安定的確保できているものの、受講生の高齢化もあることから、新たな受講者の確保が課題である。次年度は全6回の短期コースの新設を企画し、受講の選択肢を増やす予定である。
- ・特別教室について、子ども向けPC教室は、午前、午後の2回開催で募集を行ったが、応募者が少なく、午前1回に集約し実施した。また、第1期の「スポーツ教室」「文化教室」が中止となったことの代替として8月に「健康護身術」「フォトレッスン」を開催し、2月には新規教室として「ボクサdeエクサ」を実施した。「ボクサdeエクサ」については次年度も継続開催する予定である。

2 生涯学習関連施設職員研修事業（収2）

（1）児童健全育成事業（定款第4条第1項第5号）

①川崎市放課後子ども総合プラン職員資質向上研修事業の受託（こども未来局青少年支援室）

川崎市の生涯学習関連施設であるこども文化センター・わくわくプラザ等の職員の資質向上を目指した研修を実施している。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月からの開催予定を9月からに順延して実施した。

- ・期 間 令和2年9月3日(木)～令和3年1月28日(木)（全16回）
- ・受講者数

	2年度	元年度	30年度
延べ受講者数	1, 124	2, 032	2, 046

・内容

回	内 容	対象者
1	心(メンタル)の理解能力「特別な配慮が必要な児童への関わり方」	採用5～10年目の職員
2	危機管理対応能力「アレルギー対応（エピペン実習含む）」	採用5～10年目の職員
3	地域とのマネジメント「保護者・家庭との連携」	採用5～10年目の職員
4	基礎能力「接遇・応対」	採用1～02年目の職員
5	危機管理対応能力「安全管理・事故防止」	採用5～10年目の職員
6	心(メンタル)の理解能力「中高生への関わり方」	採用5～10年目の職員
7	危機管理対応能力「安全管理・事故防止」	採用5～10年目の職員
8	心(メンタル)の理解能力「外国につながる子どもの支援」	採用5～10年目の職員
9	危機管理対応能力「応急手当研修」	採用5～10年目の職員
10	心(メンタル)の理解能力「子どもの権利」	採用5～10年目の職員
11	危機管理対応能力「衛生管理研修」	採用5～10年目の職員
12	地域とのマネジメント「学校や地域との連携」	採用5～10年目の職員
13	地域とのマネジメント「児童虐待」	採用5～10年目の職員
14	心(メンタル)の理解能力「LGBTQ」	採用5～10年目の職員
15	心(メンタル)の理解能力「不登校児対応」	採用5～10年目の職員
16	心(メンタル)の理解能力「特別な配慮が必要な児童への関わり方」	採用5～10年目の職員

（成果・課題等）

- ・今年度は、6月からの開催予定を9月からとし、受講者を会場定員の半数程度に制限して実施した。次年度から委託内容の見直しが見込まれており、引き続き子どもたちを取り巻く社会情勢の変化を考慮した研修内容を提案し、受託につなげたい。

Ⅲ その他の事業

1 財団職員研修

開催日	内 容	対 象	参加者数
4月 1日	生涯学習財団について (新規採用職員研修)	財団職員 (新規採用職員)	10
6月 5日	貸館再開に伴う業務研修	財団職員	22
6月 26日	熱中症対策研修	財団職員	22
8月 25日	プラザ会議室 Wi-Fi 設置について	財団職員	17
8月 25日	ユニバーサルデザイン研修	財団職員	14
8月 25日	パワーポイント研修	財団職員	20
2月 25日	防災啓発研修	財団職員	21

2 消防・防災訓練

(1) 令和2年8月25日(火) 9:00~11:15

①訓練種別 総合訓練

②訓練内容 ア 非常放送設備の取扱

イ 火元確認

ウ 避難誘導

エ 救助

オ 連絡・通報

カ 非常持ち出し、

キ 設備点検

ク 帰宅困難者一時滞在施設開設から閉所まで

(2) 令和3年2月25日(木) 10:00~11:00

①訓練種別 消防訓練

②訓練内容 ア 非常放送設備の取扱

イ 初期消火

ウ 連絡・通報

エ 避難誘導

オ 救助・応急処置

カ 非常持出

キ 設備の安全対策・点検

ク 消防設備・消火器の取扱

3 他の機関、団体が行う事業への協力

<共催>

- (1) シニア活動講演会(中原区役所)
- (2) なかはらママカフェ in 生涯学習プラザ(中原区役所)

<後援>

- (1) 川崎市スポーツ指導者協議会更新研修会「初心者からアスリートまで・指導のコツ」
- (2) 2020ー少年の祭典「ボレロ」ー
- (3) 第9回なかはらミュージカル

4 職員採用

採用日	職 種	役 職	採用者数		公募募集期間
			推薦	公募	
4月1日	管理運営 嘱託職員	総務室 総務係長	1	—	
		総務室 財務係長	1	—	
	一般 嘱託職員	総務室 総務職員	1	—	
6月1日	一般 嘱託職員	事業推進室 事業推進職員	—	1	令和2年4月1日 ～4月14日

5 評議員会等の開催状況

	開催年月日	主な決議事項等
第1回 理事会	令和2年 5月26日	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度事業報告の承認について ・ 令和元年度決算に係る計算書類の承認について ・ 令和2年度定時評議員会の開催について
評議員会 (定時)	令和2年 6月16日	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度決算に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について ・ 理事の選任について ・ 監事の選任について ・ 評議員の選任について
第2回 理事会	令和2年 6月16日	決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長(代表理事)の選定について ・ 副理事長・常務理事兼務(業務執行理事)の選定について
第3回 理事会	令和2年11月13日	報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公益財団法人川崎市生涯学習財団川崎市生涯学習プラザ施設等使用規程(令和2年10月1日施行)の一部改正の専決処分について ・ 代表理事等の上半期職務の執行状況報告について
第4回 理事会	令和3年 3月16日	報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度下半期「代表理事等の職務の執行状況報告」について 決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度生涯学習推進特定資産の一部取崩し(令和元年度第5回理事会承認済)における、取崩し額の用途変更について ・ 令和3年度事業計画について ・ 令和3年度収支予算書について ・ 令和3年度生涯学習推進特定資産の一部取崩しについて ・ 行政庁への定期提出書類『資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類』について